

研修担当課から

札幌市教育センター 研修担当課

<http://www.sec.sapporo-c.ed.jp/>

「校内研究・研修の手引」を活用して、研究・研修をパワーアップ!

札幌市教育センターは、各研究項目の研究活動を深めるとともに、その成果を各学校の校内における研究や研修に生かしていくことを目指した研究・研修事業です。その「校内研究・研修」の推進を支援するための情報提供として「校内研究・研修の手引」が札幌市教育センター WEB ページに公開されています。来年度の校内研究や研修の計画を立てる際にも活用できる手引です。研究・研修の推進役の先生はもちろんのこと、研究・研修の進め方などについて学びたいという方も是非、御活用ください!

こちらをクリック!

<http://www.sec.sapporo-c.ed.jp/download/tebiki.html>

「校内研究・研修の手引」には、このような内容が掲載されています

研究主題や仮説って、どのように考えて設定すればいいのだろう?

第1章 札幌市の校内研究の動向

- I 研究主題の現状
- II 研究構造の現状
- III 研究領域の現状
- IV キーワード検索

次年度から〇〇についての研究を始めたい。他校の先行研究を参考にしたい。

第2章 校内研究・研修についての基本的な考え方

- I 校内研究・研修の概要
- II 校内研究の考え方
- III 校内研修の考え方

第3章 校内研究・研修体制の整備と計画の充実のために

- I 校内研究研修の進め方
- II 教員の資質向上を目指した研修の在り方
- III 校内研修会を充実させるために

第3章「校内研究・研修の進め方」を参考にしてください。研究・研修の企画や立案に関するヒントが書かれています。

第4章 授業研究に関する研修の充実のために

- I 授業改善に向けて
- II 校内研究を充実させるために

第5章 今日的な教育課題に応じた研究・研修の充実のために

- I 学校教育の今日的課題
- II 札幌らしい特色ある学校教育
- III 学校教育の柱に関すること

第1章「札幌市の校内研究の動向」では、各校の研究主題や視点、解説のキーワードをまとめました。「校内研究集録」と合わせて活用するとよいでしょう。

研究授業後の討議を、もっと充実させたい。

第4章「授業研究に関する研修の充実のために」では、研究討議を活性化させるアイデア等を紹介しています。



北方自然教育園をご活用ください

南区白川にある北方自然教育園の広い園内には、果樹園・畑・水田があり、農作物の植え付けや収穫体験を実施しています。豊かな自然の中で、どろんこになっての農作業、そして秋に得られる実りの収穫は子どもにとって貴重な体験の場となっています。園内の「昆虫観察園」では、チョウの幼虫から成虫までの成長をじかに観察することもできます。また、イネやヘチマの苗、コオロギやカイコといった生物教材の提供



黄金色に実った田んぼで稲刈り体験



花や木の実でリース作り

を行っており、毎年、多くの市立幼稚園・学校から申込みをいただき、学習等に活用されています。さらに、親子で参加できる「自然体験学習会」や「自然ふれあい事業」を休日に開催しています。自然素材を使ったリース作りやカイコの繭や小枝を利用した工作教室など、様々な体験メニューがあります。「自然体験学習会」については、各幼稚園・学校にリーフレットを配布しています。

幼児・児童・生徒へ是非御紹介ください。

北方自然教育園HPアドレス → <http://www.syaa.jp/hoppou/>



開成高等学校の校舎の前で

JICA (ジャイカ) 研修員が来ました

今年も1月に、アフリカ、サブ・サハラ地域の11か国（ボツワナ、ガーナ、ケニア、マラウイ、モザンビーク、ナイジェリア、シエラレオネ、南スーダン、スワジランド、タンザニア、ウガンダ）11名のJICA研修員が来札しました。当センターでの講座・講義の他に、伏見小学校・発寒中学校・開成高等学校を訪問し、授業参観をしました。

教員研修を通じ、自国の理数科教育の改善を目的に来日している研修員の目には、札幌の先生方の教育にかける情熱や授業技術の高さが、とても新鮮に映ったようです。研修員は、札幌の冬の寒さもものともせず研修に取り組み、すでに母国への帰途につきました。

教育相談室から

教育相談室 TEL 671-3210

<http://www.sec.sapporo-c.ed.jp/kyoso/index.html>

札幌市教育センター 教育講演会（平成24年1月12日）

『不登校の子ども一人一人の理解に基づく再登校指導』

～大切にしたい、支援のポイントとタイミング～

講師 開善塾教育研究所 所長 金澤 純三 氏

金澤先生のこれまでの実践に裏打ちされた事例の数々、あっという間の2時間でした。金澤先生の不登校児童生徒との関わりは、家庭訪問を中心に行われています。住環境の様子、食事

のとり方、家族の様子、本人が大切にしている物などあらゆることに注意をはらい、情報をまとめ、次の訪問に活かしていくとのことでした。

「親との協力関係をつくるためにも家庭訪問は有効である。」と先生は話され、「自信をもたせる」「自己評価を上げる」ことを支援することによって、「子ども自身の回復力が、子どもを学校に向かわせる」と金澤先生は、お話をまとめられました。

再登校指導のポイント

★アフローキは「家庭訪問」から

- ・家庭訪問で、母親との信頼関係をつくりましょう
 - ・学校や教師のペースを押し付けてはいけない
 - ・子どもが大切にしている物で語り合う…これを「物語」という
 - ・寄り添う、語りかけるなど対応は柔らかく
- 「休めばエネルギーが溜まる」…不登校指導の誤った認識があります。「休ませても、エネルギーは溜まらない」という捉え方を基本として、訪問支援を継続しましょう。

研究実践園(市立幼稚園)の研修事業について

◎研究実践園(市立幼稚園)の研修事業とは・・・

「札幌市の幼児教育振興を図る新たなしくみづくり」に基づき、今年度から、市立幼稚園が「研究実践園」としてスタートしました。「研究実践園」の研修事業は、各区において私立幼稚園と連携しながら幼児教育の水準向上のために行う取組です。

「札幌市の幼児教育推進を図る新たなしくみづくり」「研究実践園」等の詳しい内容は、WEB教育センター報 166号(H23.6)で御覧ください。

[→こちらから](#)

今年度、各区の研究実践園での研修事業の取組は、様々なものがありました。各区でいろいろと工夫をして、地域の私立幼稚園、小学校、保育園などと協力・連携し実施しています。

各区の研究実践園での研修事業一覧は[こちら](#)→[研修事業一覧](#)

手稲区での取組

「学びましょう!学級づくりの裏技」 講師 北海道造形教育連盟 顧問 伊藤 善彬^{よしあき}氏

「一番感性が豊かで、好奇心旺盛な4歳児になって、研修を受けてください」という伊藤先生のお言葉から始まり、実際にいろいろな作品を一緒に作り、「会話の速度は子どもの心拍数より少し遅く話す」など、学級づくりにつながる裏技を教えてくださいました。

参会者の声

驚くようなアイデアがいっぱいでした。



明日から、子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちに教えてもらいながら工夫していきます。



7月21日(木) 会場:いなづみ幼稚園

中央区での取組

「幼稚園・保育所からの小学校への接続を考える」

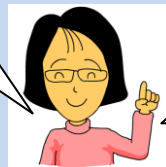
講師 北海道教育大学教職大学院 准教授 小野寺 基史氏



この研修会は、前半は講義形式、後半は8つのグループに分かれてのバズセッション形式でした。前半の講義では、連携を図っていく上での【心構え】と【情報の内容】や保護者の思い(事例)と対応などについてお話があり、後半はそれまでの話を基に「幼保小の連携」について話し合いをもちました。

参会者の声

親の思いに寄り添うことの大切さを改めて感じました。



幼保小が互いに行き来して顔が分かる関係でのネットワークづくりができると良いですね。

12月19日(月) 会場:資生館小学校

研修事業について詳しい内容を知りたい方は各区の[研究実践園のホームページ](#)を御覧ください。

研究実践園における研修事業は、今年度10区で31回実施され、延べ881人の教員・保育士の参加がありました。研修内容は、「幼稚園教育の実践」や「幼保から小への接続」、「特別支援教育」等に関わるものでした。

次年度も幼児教育センターと研究実践園では、幼児期の教育や幼保小連携等について、更なる研修内容の充実を図ってまいります。